

生活に欠かせない水

「水」というものは、私たちの生活にはとても必要で欠かせない存在です。

例えば、お風呂やトイレ、洗濯などは生活している中で必要なことです。しかし、これらのことは水が無ければ何もできません。お風呂では湯船につかることやシャワーを浴びること、トイレの水も流せないし、洗濯ではすすぐこともできません。

このような一般家庭で使う水を「家庭用水」といいます。それと反対に、学校やレストランなどの公の場で用いる水を「都市活動用水」といい、この二つをまとめて「生活用水」といいます。

私は家で水を飲んでいたときに、水は大切にしなければいけないと思って生活の中でどのように水が使われているのかについて興味を持ちました。

五條市立五條東中学校 二年

有瀬 姫翠

人は、一人で一日に約二百九リットルも家庭用水として使っています。私たちはその量をどのようにして使っているのでしょうか。調べてみたところ、お風呂で使う水が四十パーセントを占めており、トイレで使う水が二十一パーセント、炊事で使う水が十八パーセント、洗濯で使う水が十五パーセントとなっていて、これだけで一日に使う水の量の九割以上を占めています。いつも当たり前に使っていた家庭用水がこの四つだけで九割以上を占めていたという事実には驚きました。そして、私たちが生活していくのに欠かせない水を大切に使うと改めたいと思いました。次に、私たちが使っている生活用水がどこから来ているのかを調べました。私たちは川から普段から使っている家庭用水の主な源は川からの水です。上流、中流、下流の

流域全体で川の水を分け合い、水道用水や農業用水などに使われていて、しかも、川の水には人間の体に有害な物質やウイルスなどの菌も含まれているため、浄水場をはじめとする様々な施設を作るなどをして、いつでも安全に使える水を得られることができるのです。

私たちの生活に水が欠かせないということは、その源である川の水はもつと欠かせないものなのでとても大事にしなければなりません。近年は川の流れる水の量が減少したり、水質が悪化したりするなどの様々な水の循環に関わる問題があります。そうやってしまわないためにも私たちが責任を持って行動することも必要になります。

健全な水循環にするためにできること一つ目は「節水」です。例えば、洗濯するときは回数を減らすためにまとめて洗ったり、水道水やシャワーを出しっぱなしにしない、風呂の残り湯は洗濯や掃除に利用したりすることができません。これに気を付けることができれば、川の流れる水の量が減少する心配はありません。

二つ目は「汚れのもとを流さない」ことです。例えば、食器の油汚れは紙で拭き取ってから洗ったり、洗剤やシャンプーなどを使いすぎないように心がけることが大切です。このことに気を付けながら生活することができれば、水質が悪化する問題も無くなるかもしれません。

私は調べたことを活かして、水を大切に使い、節水や汚れなどを気にしながら、未来の水が今よりもきれいで使いやすい水になってほしいと思っております。これからの行動に気を付けて過ごし、水を大事に守っていききたいです。